

「ある博物館レスキュー ～震災前・後・これから～」

岩手県立博物館 主任専門学芸員 藤井千春氏



Rikuzentakata Disaster Document Digitalization Project

陸前高田被災資料デジタル化プロジェクトは2011年9月より、岩手県教育委員会の依頼に基づき、東日本大震災で被災した「陸前高田市立博物館」、「陸前高田市海と貝のミュージアム」、「陸前高田市立図書館」の被災資料写真の安定化処理※とデジタル化※を行っています。

2012年8月からは同作業にくわえ、被災資料救済等に携わる方々を招聘して講演会を開催しています。

12月は、震災後に博物館レスキューとして陸前高田市立博物館所蔵の昆虫・液浸標本救出・修復・保存・データベース化を全国の協力機関と行い、2013年1月から開催される岩手県立博物館「平成の大津波被害と博物館」テーマ展を準備中の岩手県立博物館主任専門学芸員・藤井千春氏を講師にお迎えしてお話を伺います。

※ 一般には、資料のクリーニングに加え、博物館や美術館で言うところのアーカイヴィング（保存・保管）を指す。当プロジェクトでは、この過程で被災資料にドライクリーニングを施して中性紙で梱包し、冷蔵保存を行っている。

※ 当プロジェクトでは、安定化処理を行った資料を複製またはスキャニングし、研究を継承するために画像情報をクラウド・システムへのアップロード（クラウドイング）作業もあわせて行っている。

〔講演概要〕

名 称： 陸前高田被災資料デジタル化プロジェクト講演会
「ある博物館レスキュー
～震災前・後・これから～」

講 師： 岩手県立博物館 主任専門学芸員
藤井千春（ふじいちる）氏

日 時： 2012年12月1日（土）14：00～16：00

会 場： 野毛 Hana＊Hana 2階 スペースA
〒231-0063 神奈川県横浜市中区花咲町 1-42-1

定 員： 50名（予約不要）

受 講 料： 無料

〔組織概要〕

名 称： 陸前高田被災資料デジタル化プロジェクト

概 要： 本プロジェクトは被災した写真資料を扱い、東京都写真美術館など写真関連の美術館や博物館学芸員、写真関連の知識を有する有志を中核とし、資料の安定化処理とデジタル化したデータを登録する作業を手がけるボランティア組織。専門知識を有するものが指導するため、意欲さえあれば活動に参加できることも大きな特徴。

活 動 日： 火曜日・木曜日 18：00～22：00
土曜日・日曜日 10：00～20：00（12:00-13:00を除く）

活動場所： 東京総合写真専門学校（作業場本部）
〒223-0051 神奈川県横浜市港北区箕輪町 2-2-32

野毛 Hana＊Hana（作業場別館）
〒231-0063 神奈川県横浜市中区花咲町 1-42-1

※日によって活動場所が異なります。事前にお問合せください。

協 賛： CIPA フォトエイド、全国美術館会議、
学校法人東京工芸大学 東京工芸大学、
学校法人写真学園 東京総合写真専門学校、
株式会社 ヴォックス、株式会社 銀一、
株式会社 公栄社、株式会社 堀内カラー、
株式会社 ニコンイメージングジャパン、
コメント株式会社、東京都写真美術館、東京文書救援隊、
フォトギャラリー・インターナショナル、藤澤卓也写真事務所、
横浜市民ギャラリーあざみ野、
早稲田システム開発株式会社

【講師プロフィール】

1962年、福岡県生まれの盛岡育ち。東海大学海洋学部、東京理科大学理学部卒。同大学理学専攻科修了。1988年より岩手県立高校教員として宮古・一関などで教鞭をとる。2009年より岩手県立博物館に学芸員として勤務。専門は発光生物の生態学。「深海魚メヒカリ、ドンコの発光」などの研究を行う。

東日本大震災以後は、博物館レスキューとして、主に被災陸前高田市立博物館所蔵の昆虫・液浸標本救出・修復・保存・データベース化を全国の協力機関と行う。北は札幌から南は北九州までの被災標本レスキューの企画展に協力。2013年1月からの岩手県立博物館「平成の大津波被害と博物館」テーマ展の被災生物標本展示を準備中。

【お問合せ先】 陸前高田被災資料デジタル化プロジェクト
HP： <http://tsunami-311.org/>

電 話 070-5467-3452（代表）
E mail rd3information@gmail.com